

慎重な探検、莫大な費用をかけた道路、  
偉大な力

# ダウトフル サウンドの ご紹介

www.realjourneys.co.nz

real  
JOURNEYS



## マオリの伝説 神々が手斧で 彫り上げた地形

マオリの伝説によると、この辺りのフィヨルドの地形は、海上で嵐にあった人々に避難する場所を与るためにトゥテラキファノアという神が造り上げたということです。

トゥテラキファノアは南側から北上しながら魔法の手斧を振りかざし、岩を碎いて水路を開いていきました。

ダウトフル・サウンドには若い海の神が4人手伝いに来ました。それぞれが自分の手斧で横溝を掘ったため、アームと呼ばれる枝湾が入り組んだ複雑な地形になりました。ファースト・アームはマオリ語でタイパリ・ポト(短い)、クルックト・アームはタイパリ・ヌイ(大きい)、ホール・アームはタイパリ・ロア(長い)、ディープ・コープはタイパリ・ティキ(小さい)と呼ばれています。

## 疑念の歴史

キャプテン・ジェームズ・クックは1770年に入り口近くを通りかかりましたが「ダウトフル・ハーバー」と名前をつけて去りました。それは、エンデバー号で奥へ入ったとしても出てこられるかどうか、疑わしいと考えたからでした。

その後、この決断を彼が後悔したかどうかは定かではありません。フェリペ・ハウゼが湾内の地図を作成したのは1793年、キャプテン・クックがハワイで亡くなつてから14年後のことでした。

発電所が完成した後は、観光に訪れる人々が往来しています。他のどの道路にも接すことのない孤立した道路はニュージーランドの本土ではここだけです。苔むす森といくつもの滝、この上なく美しい風景が広がる世界をご覧ください。

## オットセイ獵

1800年代に入るとオットセイ獵を目的とした船乗りがニュージーランドにやってきました。獵師たちは、ダウトフル・サウンドのグロノ・ベイ<sup>(25)</sup>を拠点に、近隣のニー岩礁<sup>(26)</sup>やシェルター諸島<sup>(27)</sup>のコロニーへ出かけました。

ニュージーランド・オットセイは、脂肪がランプ用の油に、皮が衣類に有用であったため、高値で取引きされていました。そのため、何千とも何万とも言われるオットセイがここで乱獲され、ロンドンの市場へと運ばれていきました。

当初の熱狂的な獵獲は持続可能性とは程遠いものでしたが、1875年には絶滅を防ごうとする動きが始まりました。後の1946年に法で禁漁の対象となり、以来ニュージーランド・オットセイはすべて保護されています。

## ウィルモット峠を越えて



ウィルモット峠の道路にかかる費用については諸説ありますが、1m<sup>2</sup>あたりおよそ80ドルで、当時としてはニュージーランドで随一の高額道路でした。それでも、建設の価値はあったと言えるでしょう。

671mの峠を越えるための工事は2年に及びました。未舗装ながら開通したのは1965年。マナポウリ発電所の着工に合わせて、ダウトフル・サウンドから資材を運ぶことができるようになりました。

発電所が完成した後は、観光に訪れる人々が往来しています。他のどの道路にも接すことのない孤立した道路はニュージーランドの本土ではここだけです。苔むす森といくつもの滝、この上なく美しい風景が広がる世界をご覧ください。

## 船の今昔

歴史に残る船  
最新型の船

### キャプテン・クックの エンデバー号

進水: 1764年 イギリス、  
ヨークシャーにて

巡航速度: 7~8ノット

全長: 32m

定員: 94名

装備: 小型大砲 24門

脅威: 赤痢やマラリアによる病死、  
溺死、殺人

バー: ウィスキー各種



### リアル・ジャーニーズ パテア・エクスプローラー号

進水: 2005年 オーストラリア、  
ホバートにて

巡航速度: 25ノット

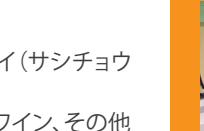
全長: 31.6m

定員: 150名

装備: カメラ多数

脅威: サンドフライ(サシチョウバエ)、雨

バー: 地ビール、ワイン、その他  
多彩なメニューも



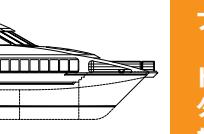
### 基本データ

プロジェクトの規模: 所要8年、  
要員 1,800名

トンネル: 全長 2km、幅 9m

タービン重量: 18トン

放水路トンネル: 10 km



## 水力発電

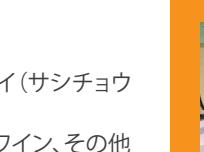
### 偉大な力

1904年、P.S.ヘイ氏はフィヨルドランドの険しい山を10kmも掘削して発電所をつくるという大胆な展望を描きました。

僻地の厳しい環境の中ではとても不可能と見えたアイデアですが、1960年代に入って、プラフ近郊にアルミニウムの製鍊所ができ、大量の電力を安定供給する必要が生じたことで転機が訪れます。

プロジェクトは困難を極め、地下とウィルモット峠で16名が命を落としました。トラックはトンネルの中では方向転換できないため、最長で7時間かけて後進しなければなりません。

それでも完成にこぎ着けたマナポウリの発電所は、現在もニュージーランド最大の水力発電所として活躍しています。機械室とタービンは湖の水面より176mも低い場所にあり、年平均4800ギガワット時を発電しています。水は毎秒510立方メートルの勢いでパイプを通り、放水路トンネルを経てダウトフル・サウンドへと注いでいます。



### ニュージーランド全国の人々が環境保護の大切さを認識し一丸となって動いたのは、マナポウリの一件が初めてだったと言われています。

1973年、政府はガーディアンズ・オブ・ザ・レイクスという独立機関を設立し、レズ・ハッチンスを含む6名を環境対策の責任者に選びました。彼はそれから26年間にわたり任務を全うしました。

今日ではダウトフル・サウンドの営業から年間5万ドル以上がレズリー・ハッチンス環境基金に寄贈され、重要な研究や保護教育活動、環境保全プログラムなどの運営に使われています。

レズとオリーブが先駆者となって、このすばらしい環境は守られてきたのです。リアル・ジャーニーズは、この地域の保護再生と存続のために、今日も真摯に取り組んでいます。

## リアル・ジャーニーズの環境保護活動

### ダウトフル・サウンドを 守るために

美しい秘境ダウトフル・サウンドは野生動物の宝庫です。現在ではユネスコの世界遺産登録の一部ともなっていますが、このすばらしい生態系は、単に世界遺産だからという理由で守られているわけではありません。

ニュージーランドでは1960年代終わりごろから独自の環境を守ろうとする運動が活発になっていました。

当初の計画では、発電所ができるとマナポウリ湖の水面が最大30mも上昇すると推計されていましたが、それでは風光明媚で知られる貴重な環境が破壊される、と危惧する声が市民からあがつたのです。

セーブ・マナポウリの運動は、ソーシャルメディアの存在しなかつた

1970年に、国民の10%に相当する数の署名を集めました。

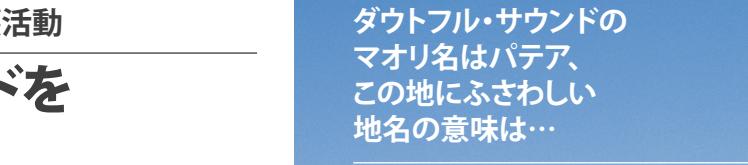


その中心として活躍したリーダーのうち2人が、リアル・ジャーニーズ社のオーナー、レズ＆オリーブ・ハッチンス夫妻です。

ニュージーランド全国の人々が環境保護の大切さを認識し一丸となって動いたのは、マナポウリの一件が初めてだったと言われています。

リアル・ジャーニーズは1954年に観光業と環境保全の先駆者、レズ＆オリーブ・ハッチンスが創設した家族経営の会社です。ミルフォード・サウンドとダウトフル・サウンド、テ・アナウ、スチュアート島、クイーンズタウンで各種ツアーを催行しています。

国内無料 0800 65 65 01  
contact@realjourneys.co.nz  
www.realjourneys.co.nz



## "静寂の場所"



real  
JOURNEYS

# 世界遺産

ニュージーランドにはユネスコの世界遺産登録地域が3つあります。テ・ワヒポウナム・南西ニュージーランドはそのひとつで、ダウフル・サウンドのあるフィヨルドランド国立公園が含まれています。

他は亞南極諸島と、北島中央部のトンガリロ国立公園で、いずれも厳正な審査のうえ、特別に保護すべき存在として認められました。風光明媚で知られるフィヨルドランドは、ゴンドワナ大陸の名残りを現代に受け継ぐ好例として、1986年に世界遺産に登録されました。さらに1990年、周辺のウエストランド国立公園、アオラキ・マウントクック国立公園、マウント・アスパイアリング国立公園に登録地域が拡大され、テ・ワヒポウナムと総称されるようになりました。

テ・ワヒポウナムの面積は260万ヘクタールを超え、ニュージーランド全土の10%を占める広大なもの。また、計10カ所の海洋保護区のうちひとつはダウフル・サウンド内にある「ザ・ガット」と呼ばれる一帯で、テ・アワアトゥ海峡のバウザ島からセクレタリー島<sup>(29)</sup>にかけて、豊かな潮流の影響で野生動物の宝庫となっています。面積では93ヘクタールと付近の海洋保護区では最小です。ちなみに最も大きなものは3,762ヘクタールのロング・サウンドです。

海洋保護区内はいかなる捕獲も厳禁で、碇を下ろすことも許されていません。海面下の生態系は実に豊かで、黒サンゴが多いことで知られています。そのなかには、1800年代から生息しているものもあります。



フィヨルドランドの10カ所にある  
海洋保護区のうち、ひとつは  
ダウフル・サウンド内にあります。  
テ・アワアトゥ海峡のバウザ島から  
セクレタリー島にかけての一帯が  
保護指定されています。

## 今日もまた 雨が降る

この辺りは年間降水量約7000mmと地球上でも有数の雨の多い地域です。平均で年に200日以上が雨ですが、豊かな雨水を集めた滝の迫力は満点です。ニュージーランドの他の地域と同様、天候が急変しやすいため、アウトドアに出かける場合は、日帰りでも夏冬両方に対応できるような準備が必要です。

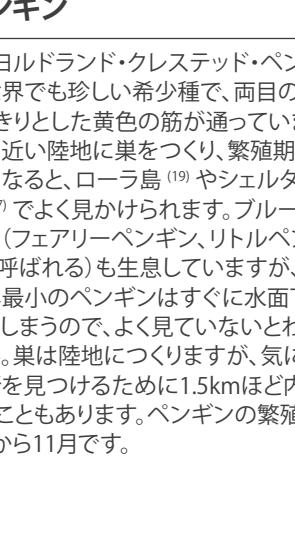
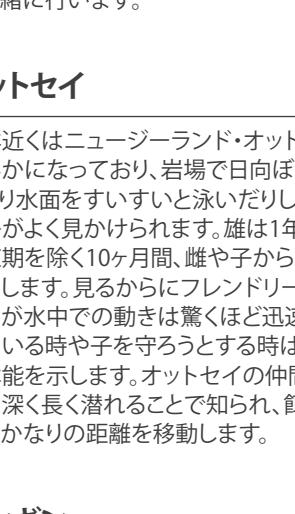
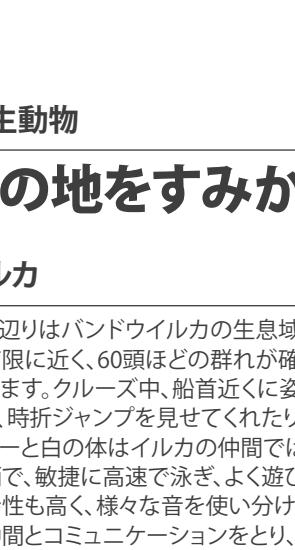
## 2つの世界が 激突する場所

地殻変動の力はこの辺りにも働いています。フィヨルドランドの地中では、インド=オーストラリア・プレートが太平洋プレートの下に潜り込んでいます。2つのプレートの接点はアルパイン断層と呼ばれています。南島の背骨にあたるサザンアルプスはこの断層の上に位置し、地殻を押し上げる力によって形成されました。

ダウフル・サウンド付近では、まだらのある花崗岩や濃い色のスレート、石灰岩などが見られます。地層は古く、一部は4億5000万年前まで遡ることができます。

## 水面下の世界

この辺りのフィヨルドの海は二層に分かれています。水面から数メートル下までは山から流れてきた淡水が溜まっていますが、それより下は海水で、性質の異なる水は混ざり合うことなく層をなしています。淡水層は森林の崩落の影響で不純物を多く含み、光が透過しにくくなっています。そのため、水深10mほどの比較的浅い場所に深海性の生物が生息するという珍しい現象が見られます。



## 野生動物

### この地をすみかにする生き物

#### イルカ

**バンドウイルカ**  
寿命: 25年くらいまで  
体長: 3.8mくらいまで  
**有名なイルカ:** 映画の主役「フリッパー」、アメリカの軍用掃海イルカ  
**最高速度:** 時速 30km  
**潜水深度:** 200m まで  
**潜水時間:** 約 7 分

#### オットセイ

**ニュージーランド オットセイ**  
体長: 2mくらいまで  
捕食対象: イカ、タコ、魚  
繁殖期: 10月～12月  
天敵: シャチ、サメ、アシカ  
コミュニケーション: 叫ぶ  
潜水深度: 380m まで  
潜水時間: 15分 まで

#### ペンギン

**フィヨルドランド クレストデッド・ペンギン**  
マオリ名: タワキ  
体高: 70 cm くらいまで  
平均寿命: 15～20年  
体重: 4 kg くらいまで  
**ブルー・ペンギン**  
マオリ名: コロラ  
体高: 25 cm くらいまで  
平均寿命: 6年程度  
体重: 約 1 kg

## 復活と再生

### 森林の盛衰

付近の山には土がほとんどないため、樹木はむき出しの岩壁にしがみつくように根を張り巡らせ、コケや地衣類を栄養源としています。そのため、雨や雪が大量に降った後などに、木々が雪崩のように斜面を滑り落ちることがあります。斜面に残った汚れの筋は森林が崩落した痕跡です。一見、惨事のようではありますが、これも自然な過程の一部に過ぎません。

自然現象として起こる山火事が陸上の生態系の新旧交代を促すのと同じように、崩落は新たな成長の始まりでもあります。樹木が無くなった場所には地衣類やコケ類、そして低木が育ち、それを基盤にまた新しい森が再生する仕組みになっているのです。こうして新しい命が次々と大地を覆っていきます。

## スペイン語 の地名

29

## タスマン海

— ウィルダネス・クルーズと1泊クルーズ  
— ウィルモット峠を越えるバス  
\* クルーズ航路は当日の天候によって異なります



## ダウフル サウンド

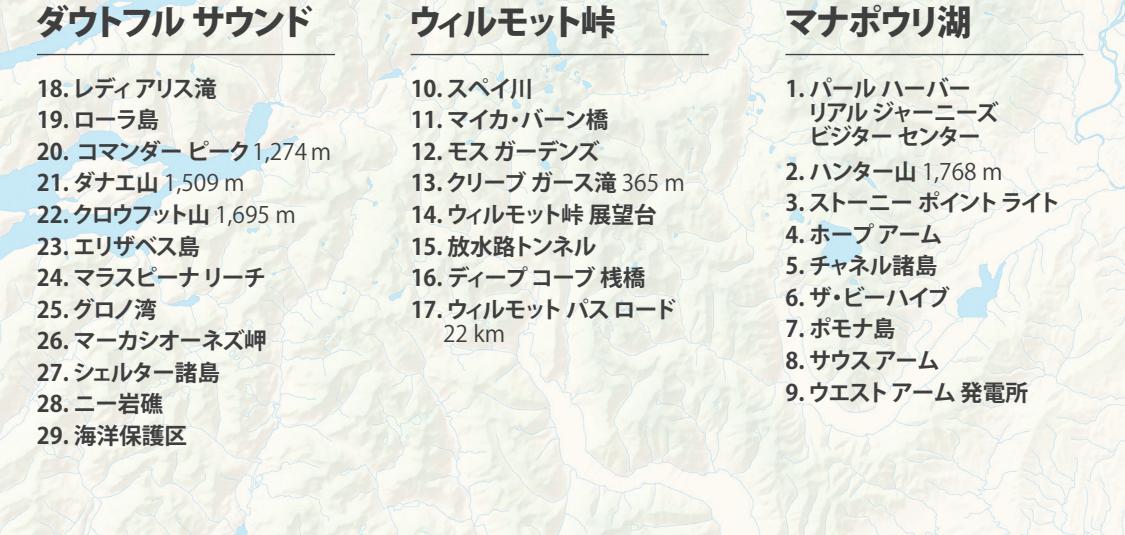
18. レディアリス滝
19. ローラ島
20. コマンダー・ピーク 1,274 m
21. ダナエ山 1,509 m
22. クロウフト山 1,695 m
23. エリザベス島
24. マラスピーナ リーチ
25. グロノ湾
26. マーカシオーネズ岬
27. シェルター諸島
28. ニー岩礁
29. 海洋保護区

## ダウフル サウンド

1. パールハーバー リアルジャーニーズ ビジターセンター
2. ハンター山 1,768 m
3. ストーニー ポイントライト
4. ホープアーム
5. チャネル諸島
6. ザ・ビーハイブ
7. ポモナ島
8. ウエストアーム 発電所

## ウィルモット峠

1. パールハーバー リアルジャーニーズ ビジターセンター
2. ハンター山 1,768 m
3. ストーニー ポイントライト
4. ホープアーム
5. チャネル諸島
6. ザ・ビーハイブ
7. ポモナ島
8. ウエストアーム 発電所



## 命あふれる森

マナポウリ湖とダウフル・サウンドの間には、ギンブナ(タフアイ)の森が広がっています。ブナの森は冷涼で水分が豊富です。地面近くには無数の低木とシダ類が茂っており、王冠を想起させるクラウン・ファーンもあちこちで見られます。ウィルモット峠にはモス・ガーデンズと呼ばれる場所があり、コケ類が森の再生に果たしている役割をうかがい知ることができます。